

第5回「知る、分かる、考える、統合型リゾート（I R）セミナー」 質疑応答（要旨）

※外部講師のご意向により、第5回の外部講師に対する質問及び回答は掲載しておりません。

（質問1）

世間ではI R誘致に伴う費用や効果について、建設費が7,100億円、運営費が100億円、運営効果が年間2兆円である等、様々な数字と情報が飛び交っている。セミナーではその辺りの具体的な数字の説明はなかったが、どのように試算しているのか。

（回答：職員）

経済波及効果等の具体的な数字については、本日説明した「大阪がめざすI Rとは」の31ページに掲載している「夢洲における国際観光拠点の建設・運営における経済的効果」の項目で参考という形でお示ししている。この内容は、夢洲の第1期エリア70ヘクタールにI Rを核とする国際観光拠点を形成した場合の施設規模や集客人口を想定し、建設投資や運営による経済波及効果等を算出したものである。

ただ、あくまで夢洲まちづくり構想において仮定で出した数字であり、今後、国の法律（I R実施法案）の中身が明らかになり、I R事業者を選定した後、I R事業者とともに改めて試算することになる。

（質問2）

大阪には所得が年間200万円以下の人も多く、生活保護受給者数も日本で最多である。この状況で5年後、10年後にカジノを開業しても本当に経済が潤うのか疑問。また、訪日観光客が今後も継続してお金を落とし続けるとは考えにくい。

仮に訪日観光客にお金を使ってもらえたとして、そのお金や税収、地域住民が使ったお金が、府民・市民、子供や職がない人達に対してどのように還元されるのかしっかり示してほしい。

（回答：職員）

大阪府市としてI R誘致に取り組むことについては、非常に大きな経済波及効果や雇用創出効果が生まれると考えている。また、税収の増加や入場料といった財政的な効果も非常に大きく、これらの効果を府民・市民へ還元することが重要であると考えている。

ただ、現時点では国において法律（I R実施法案）の内容がまだ明らかになっていないため、具体的に効果に関する試算ができず、抽象的な話しかできないが、いずれ法律が明らかになれば丁寧に説明していきたいと考えている。

（質問3）

世界目線での経済効果がI Rにあると思う。私は関東から参加していて、経済効果が生まれるならI Rを誘致したい地域住民もいると思うが、治安への不安などで反対する意見があってI Rに踏み込めない地域もあったりすると思っている。そういった意味では、大阪が実際にI R誘致に向けた取組みを進

第5回「知る、分かる、考える、統合型リゾート（IR）セミナー」 質疑応答（要旨）

めているのはとてもうらやましく思う反面、リスクを負っているというのは非常に興味深い。その中で私が思うことは、IR誘致による効果が大阪だけでなく、他の地域にどのように還元されるか聞きたい。

例えば、大阪でビジネスチャンスが多くあることによって、海外の事業者が興味を持ち、さらなるビジネスチャンスが生まれてくるとか、大阪のIR、カジノが支える集客効果によって得られた利益を国が運用し、どのような地域活性が進んでいくかなど、どのようなシナリオがあるのか知りたい。

（回答：職員）

国のIR推進会議の取りまとめでは、法人税等は通常どおりIR事業全体に課され、法人府民税等も現在の納税制度によって収納先が決定している。

加えて、カジノに関しては、特殊なカジノ税といわれる納付金や入場料が徴収される。国の取りまとめでは、国と地方が1対1の比率で納付金や入場料を収納するという事になっている。国に納付された分についての使途は予算の議論の中で決定されていくので、その使途により、他の地域の振興に使われる場合も考えられる。

また、設置自治体に納付された分については、周辺の自治体、これは市町村、都道府県どこまでを含むかについては明らかになっておらず、必ず配分しなければならないものにもなっていないが、国の取りまとめでは周辺の自治体に配分することができるという考え方が整理されている。この辺りは、今後、国において詳細な法整備が進み、また、我々がどのようなIRに関する整備計画を持つかによって、配分計画についても検討していくことになる。

さらに、国の取りまとめでは、IRには観光客の送り出し機能が必須の機能として明示されている。つまり、大阪のIRにだけ観光客を取り込むのではなく、豊富な他の地域の観光資源を活かし、多くのインバウンドを含めた観光客を他のエリアへ送り出していく機能を持つ。また、IRには日本の芸術文化のショーケース機能というものも求められており、日本全体の魅力をIR区域内で発信することで、より広く観光客を呼び込んでいくというような仕掛けを想定していると理解いただきたい。

（質問4）

カジノに対して高額な入場料を課した場合、富裕層ではない一般の方は、一度カジノに入ったら出ることを拒んだり、入場料を取り返そうとよりカジノに熱くなったりすることが考えられるが、具体的にどれくらいの入場料を検討しているか。

（回答：職員）

入場料は国において検討中であるが、国のIR推進会議の取りまとめにおける議論の過程では、数千円の一般的なテーマパークや、映画鑑賞から東京ディズニーランドといったものを例に挙げている。シンガポールにおいては、シンガポールドルを日本円に換算して8,000円程度であり、日本では恐らく1万円以下の入場料が設定されると思われる。入場料を取り返したいという心理は働くと思うが、入場料を設定することにより、安易な入場を一定制限する効果や、入場料を依存症対策を初め、必要な対策費に充てることも考慮した上で、現在、適正な入場料の議論が行われている。